
中部道路メンテナンスセンター メールマガジン 2026 年 9 月号

メールマガジンを登録頂いたみなさまに、様々な話題を提供しています。

=== 国土交通省・地方自治体等から発信されている最新の情報を紹介します ===

■■中部道路メンテナンスセンター■■

★橋梁点検・補修ミニ講座のご案内

橋梁に関する基礎知識のほか、損傷部材の実物と AR 画像による点検のポイントや損傷メカニズムの解説などを予定しています。

開催日時：令和 8 年 10 月 30 日（金） 13:00～16:00

場所：中部道路メンテナンスセンター 2 階会議室（名古屋市東区大幸南 1-1-15）

対象：地方自治体職員

申込期限：令和 8 年 10 月 7 日（水）

<https://www.cbr.mlit.go.jp/chubumc/document/pdf/minikouza2026.pdf>

★建設技術フェア 2026 in 中部に出展します★

中部道路メンテナンスセンターは、建設技術フェア in 中部 2026 に出展いたします。

VR・AR 技術を活用したトンネル点検の疑似体験や道路の維持管理についてのパネル展示を予定しています。ぜひお立ち寄り下さい。

開催日時：令和 8 年 11 月 19 日（木）～11 月 20 日（金）

会場：ポートメッセ名古屋第 1 展示館（名古屋市国際展示場）

<https://www.kgf-chubu.com/index.html>

★中部自治体支援ポータルサイトの活用について

令和 5 年度末に運用開始しました「中部自治体支援ポータルサイト」は、地方公共団体の職員の皆様方からの道路メンテナンスに関するご質問に答えするポータルサイト（無料）です。

各県メンテナンス会議事務局から発行されている ID、パスワードを利用し、質問するカテゴリーや回答してほしい相手（以下、回答者）を選択し質問内容を登録すれば、自動的に回答者にメールが配信されます。

回答者が回答をサイトに登録すれば、質問者に回答された旨のメールが届き、サイト内で回答を確認することが出来るシステムとなっております。

よくある Q & A では、過去の相談とその回答内容を閲覧できます。

また、各種技術資料等の閲覧もできます。お気軽にご活用下さい。

（中部地方整備局 道路部 道路管理課）

<https://drmtpo.cbr.mlit.go.jp/index.html>

■■■国土交通省 本省■■■

○橋梁等の 2025 年度（令和 7 年度）点検結果をとりまとめ
～道路メンテナンス年報（3 巡目 2 年目）の公表～

2013 年度の道路法改正等を受け、2014 年度より道路管理者は全ての橋梁、トンネル、道路附属物等について、5 年に 1 度の点検が義務付けられています。2018 年度に 1 巡目点検、2023 年度に 2 巡目点検が完了し、2024 年度から 3 巡目点検が実施されています。

今般、2025 年度までの点検や診断結果、措置状況等を「道路メンテナンス年報」としてとりまとめましたのでお知らせいたします。

https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_002135.html

○第 10 回「インフラメンテナンス大賞」募集を開始します
～インフラメンテナンスの優れた取組や技術開発を表彰！～

国土交通省は、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、防衛省とともに「第 10 回インフラメンテナンス大賞」の募集を開始します。

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000382.html

○「国土交通省インフラ分野の衛星データ利用に 関する取組方針」の策定について

国土交通省では、令和 8 年 8 月 26 日、第 13 回インフラ分野の DX 推進本部を開催し、インフラ分野における衛星データ利用の基本的な取組方針を示す「国土交通省インフラ分野の衛星データ利用に関する取組方針」を策定しました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_001360.html

○持続可能なインフラメンテナンスを支える点検支援技術を募集します
～橋梁、トンネル点検支援技術の社会実装・普及を推進～

国土交通省では、新技術を用いた道路構造物点検の効率化・高度化を推進することを目的に、点検に活用可能な技術を取りまとめた「点検支援技術性能カタログ」の整備を行っています。

このたび、掲載技術の更なる拡充や更新を図るため、「橋梁点検」「トンネル点検」に関する点検支援技術を下記のとおり公募します。

公募期間：令和 8 年 9 月 14 日（月）～令和 8 年 10 月 15 日（木）

https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_002142.html

○「補強土壁の点検支援に関する技術」について技術比較表を公表します
～現場ニーズに基づいたテーマについて、技術の比較結果を公開～

国土交通省では、発注者や施工者が各技術の特徴や性能を比較し、現場のニーズに適した技術を選定・活用しやすくすることを目的として、「補強土壁の点検支援に関する技術」について、新技術活用システムにおけるテーマ設定型（技術公募）の取組を進めています。

このたび、民間企業等から公募した 10 技術について、同一条件下での現場実証等の結果を踏まえ、各技術の特徴を比較できる技術比較表（カタログ）をとりまとめましたので、公表します。

https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_001362.html

■■国土技術政策総合研究所■■

- 「道路橋示方書・同解説（令和 7 年 10 月）」の正誤表の更新について
設計、施工、維持管理にあたって参考となる知見のページを更新しました
<https://www.nilim.go.jp/lab/ubg/suguni/index.html>

- 国総研研究資料を掲載しました

「道路橋の設計自動車荷重に関する試験調査報告書－全国活荷重実態調査－」（第 1354 号）
<https://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn1354.htm>

■■土木研究所■■

- 令和 8 年度土木研究所講演会のご案内

AI 等を活用した土木技術の最前線

開催日等 10 月 6 日（火） 一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2）

申込期限 10 月 2 日（金） 15 時

<https://www.pwri.go.jp/jpn/about/pr/event/2026/1006/index.html>

- 第 18 回 CAESAR 講演会

橋をまもり、未来へつなぐ

～橋の管理と技術開発の現場が協働して描くサステナブル戦略～

開催日等 10 月 22 日（木） 一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2）

申込期限 10 月 9 日（金） 正午

<https://www.pwri.go.jp/jpn/about/pr/event/2026/1022/index.html>

■■一般社団法人 日本橋梁建設協会■■

- 令和 8 年度「橋梁技術発表会及び講演会」開催のご案内

中部地区 11 月 6 日（金） 名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）

申込期限 10 月 30 日（金）

<https://www.jasbc.or.jp/technology/>

＝＝＝＝＝橋梁メンテナンスの学習資料編＝＝＝＝＝

橋建協様にご協力いただき、橋梁の基礎情報を配信いたします。

■■一般社団法人 日本橋梁建設協会■■

- ＜定期配信＞鋼橋の補修・補強に関する Q & A（その 18）

https://www.cbr.mlit.go.jp/chubumc/document/pdf/qa_18.pdf

国土交通省 中部地方整備局 中部道路メンテナンスセンター

<https://www.cbr.mlit.go.jp/chubumc/>

★登録内容の配信停止

https://www.cbr.mlit.go.jp/chubumc/tech/merumaga/stop_member.html

★メールマガジンバックナンバー

<https://www.cbr.mlit.go.jp/chubumc/tech/merumaga/backnumber.html>

★道路メンテナンスに関する相談窓口（中部自治体支援ポータルサイト）

<https://drmtpo.cbr.mlit.go.jp/index.html>

★新技術等の情報

<https://www.cbr.mlit.go.jp/chubumc/data/>

★道路の異状等を発見したら電話(#9910)、または LINE アプリで

https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001786.html



★このメールは送信専用メールアドレスから配信されています。着信確認等の返信は必要ありません。

